

制御信号分配器  
VDA-70P  
VIDEO DISTRIBUTION AMP.  
取扱説明書

必ずお読みください！

ビデオトロン株式会社

## この製品を安全にご使用いただくために



### 警告

誤った取扱いをすると死亡または重傷、火災など重大な結果を招く恐れがあります。

#### 1、電源プラグ、コードは

- ・指定された電源電圧(AC100V 50/60Hz)以外では使用しないでください。
- ・AC 電源(室内電源)の容量を超えて機械を接続し長時間使用すると火災の原因になります。
- ・差込みは確実に。ほこりの付着やゆるみは危険です。
- ・濡れた手でプラグの抜き差しを行わないでください。
- ・抜き差しは必ずプラグを持って行ってください。コードを持って引っ張らないでください。
- ・コードは他の機器の電源ケーブルや他のケーブル等にかからせないでください。
- ・コードの上に重い物を載せないでください。電源がショートし火災の原因になります。
- ・機械の取り外しや清掃時等は必ず機械の電源スイッチを OFF にしてからプラグを抜いてください。

#### 2、本体が熱くなったら、焦げ臭いにおいがしたら

- ・すぐに電源スイッチを切ってください。ただし、電源回路上、切れない場合があります。その時は電源プラグを正しく抜いてください。機械の保護回路により電源が切れた場合、あるいはブザーによる警報音がした場合にはすぐに電源スイッチを切るか、電源プラグを抜いてください。
- ・上下に設置されている機械の電源スイッチまたはメインのブレーカーを切ってください。
- ・空調設備を確認してください。
- ・しばらく、手や体を触れないでください。ファンの停止が考えられます。設置前にファンの取り付け場所を確認しておきファンが停止していないか確認をしてください。5年に一度はファンの交換をおすすめします。
- ・機械の通風孔をふさぐような設置をしないでください。熱がこもり火災の原因になります。
- ・消火器は必ず1本マシンルームに設置し緊急の場合に取り扱えるようにしてください。
- ・弊社にすぐ連絡ください。

#### 3、機械の近くでは飲食やタバコ、火気を取り扱うことは絶対に行わないでください。

- ・特にタバコ、火気を取り扱うと電気部品に引火し火災の原因になります。
- ・機械の近く、またはマシンルーム等の密閉された室内で可燃性ガスを使用すると引火し火災の原因になります。
- ・コーヒーやアルコール類が電気部品にかかりますと危険です。

#### 4、修理等は、ご自分で勝手に行わないでください。

下記のあやまちにより部品が発火し火災の原因になります。

- ・部品の取り付け方法(極性の逆等)を誤ると危険です。
- ・電源が入っている時に行くと危険です。
- ・規格の異なる部品の交換は危険です。

## 5、その他

- ・長期に渡ってご使用にならない時は電源スイッチを切り、安全のため電源プラグを抜いてください。
  - ・重量のある機械は1人で持たないでください。最低2人でかかえてください。腰を痛めるなど、けがのもとになります。
  - ・ファンが回っている時は手でさわらないでください。必ず停止していることを確かめてから行ってください。
  - ・車載して使用する時は確実に固定してください。転倒し、けがの原因になります。
  - ・本体のラックマウントおよびラックの固定はしっかり建物に固定してください。地震などによる災害時危険です。
- また、地震の時は避難の状況によりブレーカーを切るか、火災に結び付かない適切な処置および行動を取ってください。そのためには日頃、防災対策の訓練を行っておいてください。
- ・機械内部に金属や導電性の異物を入れないでください。回路が短絡して火災の原因になります。
  - ・周辺の機材に異常が発生した場合にも本機の電源スイッチを切るか電源プラグを抜いてください。



## 注意

誤った取扱いをすると機械や財産の損害など重大な結果を招く恐れがあります。

### 1、操作卓の上では飲食やタバコは御遠慮ください。

コーヒーなどを操作器内にこぼしスイッチや部品の接触不良になります。

### 2、機械の持ち運びに注意してください。

落下等による衝撃は機械の故障の原因になります。

また、足元に落としたりしますと骨折等けがの原因になります。

### 3、フロッピーディスクやMOディスクを取り扱う製品については

- ・規格に合わないディスクの使用はドライブの故障の原因になります。
  - マニユアルに記載されている規格の製品をご使用ください。
  - ・長期に渡り性能を維持するために月に一回程度クリーニングキットでドライブおよびMOディスクをクリーニングしてください。
  - ・フィルターの付いている製品はフィルターの清掃を行ってください。
- 通風孔がふさがり機械の誤動作および温度上昇による火災の原因になります。
- ・強い磁場にかかる場所に置いたり近づけたりしないでください。内部データに影響を及ぼす場合があります。
  - ・湿気やほこりの多い場所での使用は避けてください。故障の原因になります。
  - ・大切なデータはバックアップを取ることをおすすめします。

**定期的なお手入れをおすすめします。**

- ・ほこりや異物等の混入により接触不良や部品の故障が発生します。
- ・お手入れの際は必ず電源を切ってプラグを抜いてから行ってください。
- ・正面パネルから、または通風孔からのほこり、本体、操作器内部の異物等の清掃。
- ・ファンのほこりの清掃
- ・カードエッジコネクタータイプの基板はコネクターの清掃を一月に一度は行ってください。

また、電解コンデンサー、バッテリー他、長期使用劣化部品等は事故の原因につながります。  
安心してご使用していただくために定期的な(5年に一度)オーバーホール点検をおすすめします。  
期間、費用等につきましては弊社までお問い合わせください。

\*\*上記現象以外でも故障かなと思われた場合は弊社にご連絡ください。

連絡先……………ビデオトロン株式会社

〒193-0835 東京都八王子市千人町2 - 17 - 16

TEL 042 - 666 - 6329

FAX 042 - 666 - 6330

受付時間 8:30 ~ 17:00

E-Mail [cs@videotron.co.jp](mailto:cs@videotron.co.jp)

土曜・日曜・祝祭日の連絡先

留守番電話 042 - 666 - 6311

緊急時 \*\* 090 - 3230 - 3507

受付時間 9:00 ~ 17:00

\*\*携帯電話の為、通話に障害を起す場合がありますので、あらかじめご了承願います。

..... 目次 .....

この製品を安全にご使用いただくために .....	1
<b>1. 概説</b> .....	1
(特長) .....	1
<b>2. 機能チェック</b> .....	1
1. 構成 .....	1
2. 筐体への取り付け .....	1
3. POWER ON までの手順 .....	1
4. 基本動作チェック .....	2
<b>3. 各部の名称と働き</b> .....	3
<b>4. 基本操作</b> .....	4
<b>5. SNMP 対応</b> .....	5
<b>6. トラブルシューティング</b> .....	6
<b>7. 仕様</b> .....	7
1. 定格 .....	7
2. 性能 .....	7
<b>8. ブロック図</b> .....	7

## 1. 概説

VDA-70PIはSW-70-422、SW-70-GPI、TAJ-70-422、RS-70HD/SD等の制御信号専用の分配器で、複数機器のチャンネル切替を連動させることができます。本製品を使用することで、一台のリモコン(RS-70-01)で複数の切替器(SW-70-422、SW-70-GPI、TAJ-70-422、RS-70HD/SD等)を一括制御することが可能になります。また、マスター接続された切替器に対して接点制御すると、サブ接続された複数の切替器も連動します。

### (特長)

- ・制御信号の8分配が可能です。
- ・最大9つの切替器(SW-70-422、SW-70-GPI、TAJ-70-422、RS-70HD/SD)を連動させることができます。\*\*1
- ・SNMPに対応しています。\*\*2

\*\*1 弊社独自の制御信号の分配に対応しています。それ以外の信号(BBS、3値シンク)の分配にはご使用できません。

\*\*2 SNMPで入力信号の有無を確認することはできません。モジュールの実装/非実装の確認のみ対応しています。

## 2. 機能チェック

### 1. 構成

番号	品名	形名・規格	数量	記事
1	メインモジュール	VDA-70P	1	
2	コネクタモジュール		1	
3	取扱説明書		1	本書
4	75 終端器	BNC 75	1	

### 2. 筐体への取り付け

ご使用の際には、コネクタモジュール及びメインモジュールを筐体に取り付けてください。筐体はVbus-70Bシリーズのいずれにも対応します。実装方法については「Vbus-70Bシリーズ取扱説明書」を参照してください。

### 3. POWER ON までの手順

- (1)メインモジュール及びコネクタモジュールを筐体へ正しくセットします。
- (2)筐体の電源プラグをAC100Vのコンセントに接続します。
- (3)INPUTにSW-70-422、SW-70-GPI、TAJ-70-422、RS-70HD/SDのPANEL信号を入力します。
- (4)INPUTの片側にRS-70-01、または75 の終端器を取り付けます。
- (5)OUTPUT1～8の出力をSW-70-422、SW-70-GPI、TAJ-70-422のPANEL端子に接続します。
- (6)筐体の電源スイッチを投入します。

#### 4. 基本動作チェック

下記の操作で本機が正常に動作していることをチェックします。

正常に動作しない場合はP-5「5. トラブルシューティング」を参照してください。

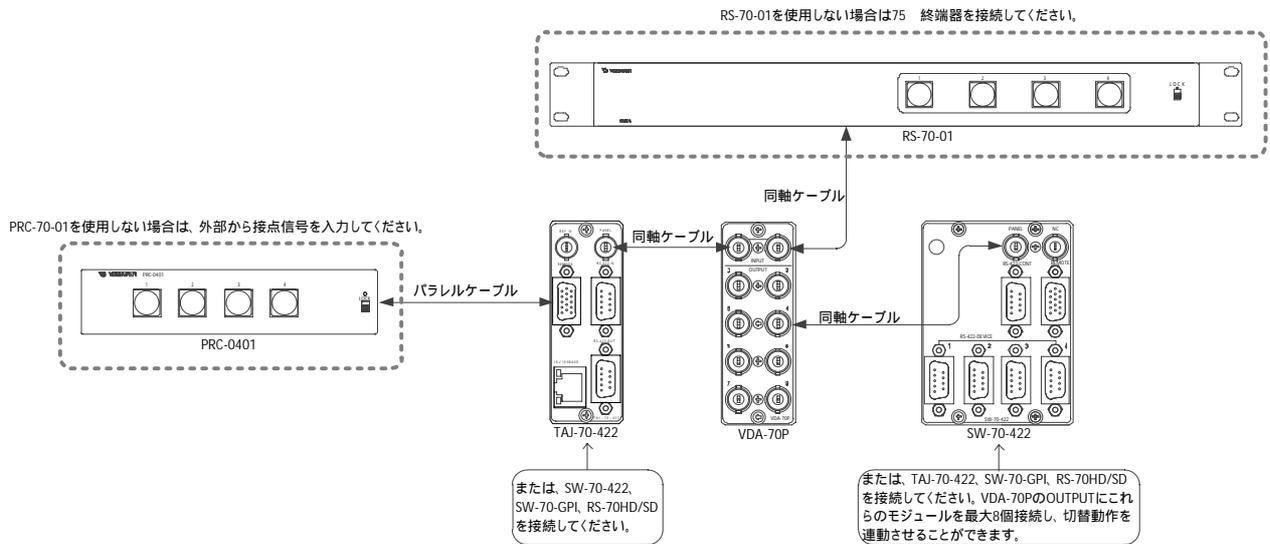


図 2-1 基本動作チェック

(1) 上記の接続図に従い、配線してください。

INPUTコネクタには必ずTAJ-70-422、SW-70-422、SW-70-GPI、RS-70HD/SDのいずれかを接続してください。

RS-70-01パネルを使用しない場合、INPUTコネクタの片側に75 終端器を接続します。

OUTPUTコネクタをBNCケーブルで連動させたいモジュール(TAJ-70-422、SW-70-422、SW-70-GPI等)のPANELコネクタに接続します。

(2) 電源を投入し、RS-70HD/SD、またはPRC-0401パネルの操作で、OUTPUTコネクタに接続されているサブ制御機器が連動することを確認してください。

### 3. 各部の名称と働き

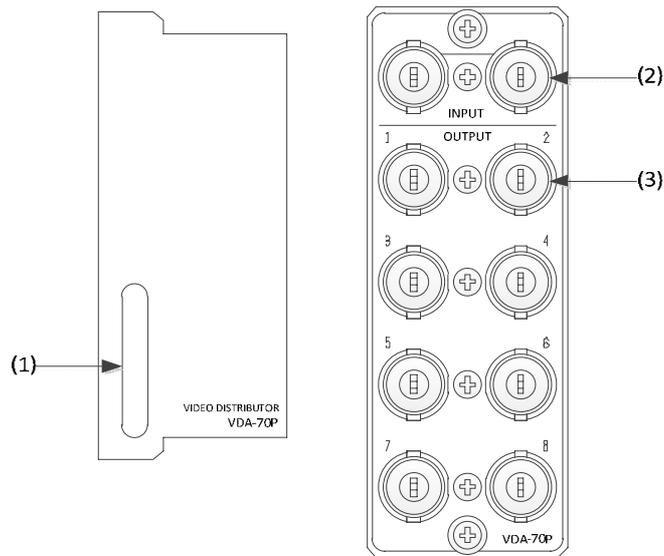


図 3-1 各部の名称と働き

(1)取手

筐体への取り付け、取り外しなどを行う場合はこの部分を持ちます。

(2)INPUT

マスター制御の機器を接続します。

VDA-70PのINPUTに接続できる機種は、RS-70-01、TAJ-70-422、TAJ-70-GPI、SW-70-422、RS-70HD/SDです。

VDA-70PのINPUTの一方にはRS-70-01を必ず接続してください。RS-70-01を使用しない場合は75 終端器を接続してください。それ以外の接続を行った場合は正常に動作しません。

(3)OUTPUT

サブ制御の機器を最大8台まで接続できます。

VDA-70PのOUTPUTに接続できる機種は、TAJ-70-422、TAJ-70-GPI、SW-70-422、RS-70HD/SDです。

## 4. 基本操作

一台の操作パネルでTAJ-70-422とSW-70-422を同時に切替えたい時や、一つの接点で複数のTAJ-70-422、あるいはSW-70-422、RS-70HD/SDの切替えを連動させたい時の手法を下記に説明します。

VDA-70Pの入力に接続できる機種は、RS-70-01、TAJ-70-422、TAJ-70-GPI、SW-70-422、RS-70HD/SDです。

VDA-70Pの入力的一方にはRS-70-01を必ず接続してください。RS-70-01を使用しない場合は75 終端器を接続してください。それ以外の接続を行った場合は正常に制御できません。

VDA-70Pの入力に接続した機器は、マスター制御となり、VDA-70PのOUTPUTに接続した機器を連動制御することができます。下図の接続を行った場合TAJ-70-422がマスター制御となり、SW-70-422を連動制御しています。

TAJ-70-422正面のFUNCTIONスイッチを3に設定すれば、TAJ-70-422に対して接点、あるいはLANで制御した場合もSW-70-422を制御することができます。図4-2参照。

VDA-70PのOUTPUTに接続された機器は、サブ制御となります。サブ制御の機器に対して接点、あるいはLANの制御を行わないでください。万が一制御した場合、マスター制御の機器と、サブ制御の機器でチャンネルの不一致が発生する場合があります。

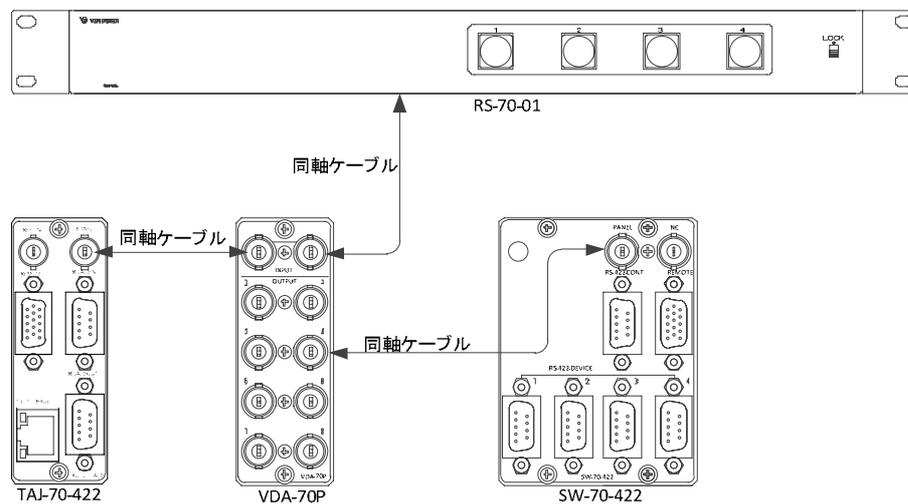


図4-1 2台以上の機器をRS-70-01で連動制御

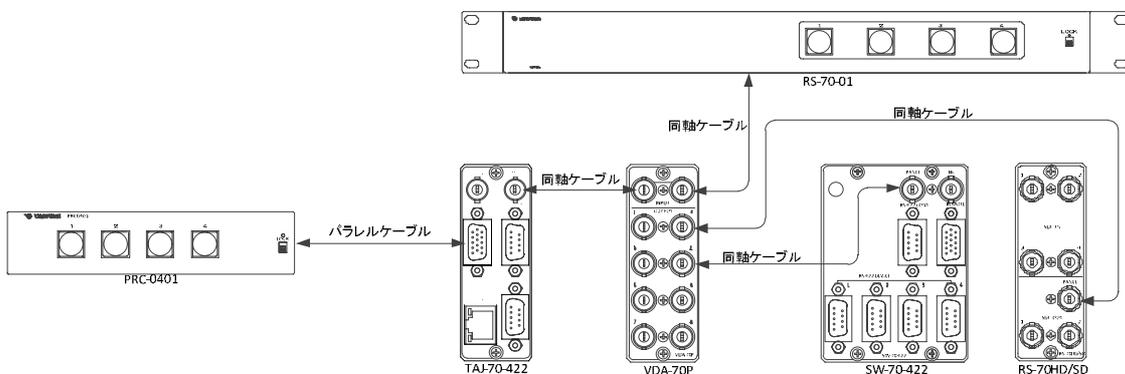


図4-2 3台以上の機器をRS-70-01で連動制御

## 5. SNMP対応

Vbus 筐体に SNMP モジュールが搭載されている時、SNMP に対応します。

VDA-70PのMIBデータは以下の表に対応します。

項番	オブジェクト識別子	アクセス	バイト数	規格	実装例	SYNTAX	更新
3	kcode {1.3.6.1.4.1.20120. 20.1.166.1.1.3.index}	R/O	4	機種コード	SNMP 機種コード 166(d)=A6(h)	SNMP_LTYP_INTEGER	
14	未使用 {1.3.6.1.4.1.20120. 20.1.166.1.1.14.index}	R/O	4	未使用		SNMP_LTYP_INTEGER	
40	Hard {1.3.6.1.4.1.20120. 20.1.166.1.1.40.index}	R/O	4	LCA のバージョン情報 bit15 ~ 0: 56h(V) 30h(0)	英数字 2 文字 アスキー表示: V0	SNMP_LTYP_INTEGER	
1000	未使用 {1.3.6.1.4.1.20120. 20.1.166.1.1.1000.index}	R/O	4	未使用		SNMP_LTYP_INTEGER	
1001	DIP SW Status {1.3.6.1.4.1.20120. 20.1.166.1.1.1001.index}	R/O	4	DIP SW 番号		SNMP_LTYP_INTEGER	

[1.3.6.1.4.1.20120.20.1.166.1.1]の後に識別子を付加して情報を取得します。

indexはメインモジュールが挿入されているスロット番号となります。

## 6. トラブルシューティング

トラブルが発生した場合の対処法です。(文中の は対処方法を示しています)

筐体のトラブルに関しては、筐体の取扱説明書もあわせてご覧ください。

**現象** 電源が入らない！

**原因** ・筐体の電源ケーブルは接続されていますか？

・筐体の電源スイッチはON側になっていますか？

・筐体のヒューズは切れていませんか？

もし交換してすぐにヒューズが切れるようであれば直ちに使用を中止し、弊社へお問い合わせください。

**現象** まったく動作しない！

**原因** ・筐体の電源ケーブルは接続されていますか？

・筐体の電源スイッチはON側になっていますか？

・筐体のヒューズは切れていませんか？

もし交換してすぐにヒューズが切れるようであれば直ちに使用を中止し、弊社へお問い合わせください。

・メインモジュール(基板)は正しく挿入されていますか？

**現象** 制御が効かない！

**原因** ・同軸ケーブルの配線は正しいですか？

「4.基本操作」の項を参照し、同軸ケーブルの配線に問題がないか確認してください。

・マスター制御モジュールの設定は正しいですか？

TAJ-70-422、SW-70-422、SW-70-GPI正面のスイッチが“3”以外の場合は、

“3”にして再度制御が効くか確認してください。

・サブ制御モジュールの設定は正しいですか？

TAJ-70-422、SW-70-422、SW-70-GPI正面のスイッチが“3”以外の場合は、

“3”にして再度制御が効くか確認してください。

・サブ制御機器に対して接点、LAN制御を行っていませんか？

切替制御はINPUTに接続したモジュール以外からはできません。

・RS-70HD/SDのLOCKは解除されていますか？

パネルロックを解除して再度ご確認ください。

お問い合わせは、当社製造技術部までご連絡ください。

## 7.仕様

### 1. 定格

#### 入力信号

・INPUT

制御信号(約4Vp-p/75 ) BNC 1系統(ブリッジ可)

ブリッジ接続時、MAIN基板を抜いても信号が断にはなりません。

#### 出力信号

・OUTPUT 1~8

制御信号(約4Vp-p/75 ) BNC 8系統

#### 動作温度

0 ~ 40

#### 動作湿度

20 ~ 80%RH(ただし結露なき事)

#### 消費電力

4VA (5V, 0.8A) max

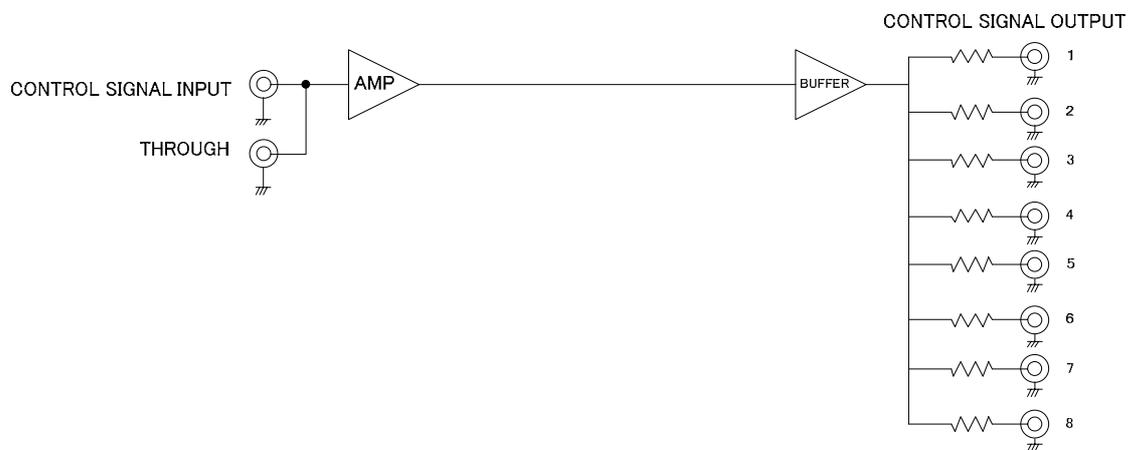
### 2. 性能

#### 入出力特性

・ケーブル補償

5C2V 300m

## 8. ブロック図



御使用各位 殿

## ビデオトロン株式会社

製造技術部

### 緊急時の連絡先について

日頃は、当社の製品をご使用賜わりまして誠にありがとうございます。  
ご使用中の製品が故障する等の緊急時には、下記のところへご連絡いただければ  
適切な処置を取りますので宜しくお願い申し上げます。

#### 記

##### 営業日の連絡先

**ビデオトロン株式会社** 製造技術部

〒193-0835 東京都八王子市千人町2 - 17 - 16

TEL 042 - 666 - 6329

FAX 042 - 666 - 6330

受付時間 8:30 ~ 17:00

e-mail:cs@videotron.co.jp

##### 土曜・日曜・祝祭日の連絡先

留守番電話 042 - 666 - 6311

緊急時 090 - 3230 - 3507

受付時 9:00 ~ 17:00

携帯電話の為、通話に障害を起す場合がありますので、あらかじめご了承願います。

## 無断転写禁止

- ・このファイルの著作権はビデオトロン株式会社にあります。
- ・このファイルに含まれる文書および図版の流用を禁止します。